令和6年（2024年）第1回鹿追町議会定例会会議録

1 議事日程 第3号

日時 令和6年（2024年）3月19日（火曜日） 午前10時00分 開議

場所 鹿追町議会議場

日程 1	請願第 1号	将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する請願
〔産業厚生常任委員会報告〕
日程 2	議案第 3号	鹿追高等学校寄宿舎設置条例の制定について
〔総務文教常任委員会報告〕
日程 3	議案第 20号	令和6年度（2024年度）鹿追町一般会計予算について
日程 4	議案第 21号	令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険特別会計予算について
日程 5	議案第 22号	令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険病院事業会計予算について
日程 6	議案第 23号	令和6年度（2024年度）鹿追町簡易水道事業会計予算について
日程 7	議案第 24号	令和6年度（2024年度）鹿追町下水道事業会計予算について
日程 8	議案第 25号	令和6年度（2024年度）鹿追町介護保険特別会計予算について
日程 9	議案第 26号	令和6年度（2024年度）鹿追町後期高齢者医療特別会計予算について
〔令和6年度鹿追町各会計予算審査特別委員会報告〕
日程 10	議案第 32号	鹿追町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
日程 11	議案第 33号	令和5年度（2023年度）鹿追町一般会計補正予算（第10号）について

- 日程 12 議案第 34 号 令和 5 年度 (2023 年度) 鹿追町下水道特別会計補正
予算 (第 5 号) について
- 日程 13 議案第 35 号 令和 6 年度 (2024 年度) 鹿追町一般会計補正予算 (第
1 号) について
- 日程 14 委員会の閉会中の継続調査申し出について
- 追加日程 1 発委第 2 号 将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農
業・農村基本法改正等に関する意見書

2 本日の会議に付した事件
議事日程のとおり

3 出席議員 (10 人)

1 番 佐々木康人議員	2 番 黒井 敦志議員	3 番 金子 孝伸議員
4 番 青砥 敏一議員	5 番 山口 優子議員	7 番 川染 洋議員
8 番 狩野 正雄議員	9 番 安藤 幹夫議員	10 番 清水 浩徳議員
11 番 上嶋 和志議員		

4 欠席議員 (1 人)

6 番 畑 久雄議員

5 本会議に説明のため出席したもの

町 長	喜 井 知 己
教育委員会教育長	渡 辺 雅 人
代表監査委員	野 村 英 雄
農業委員会会長	菊 池 輝 夫

6 町長の委任を受けて説明のため出席したもの

副 町 長	松 本 新 吾
総 務 課 長	葛 西 浩 二
総務課財政担当課長	武 者 正 人

会 計 管 理 者	西 垣 慎 也
総務課主幹（消防署長）	内 海 卓 実
企 画 課 長	草 野 礼 行
町 民 課 長	高 瀬 俊 一
子育て支援課長	米 澤 裕 恵
農 業 振 興 課 長	檜 山 敏 行
環境保全センター担当課長	城 石 賢 一
保 健 福 祉 課 長	富 樫 靖
保 健 福 祉 課 主 幹	佐 藤 裕 之
商 工 観 光 課 長	大 西 亮 一
建 設 水 道 課 長	大 上 朋 亮
ジオパーク推進課長	高 井 宏 行
瓜 幕 支 所 長	東 原 孝 博
国民健康保険病院事務長	渡 辺 弘 樹
総 務 課 長 補 佐	萩 生 田 訓 考
総 務 課 財 政 係 長	鎌 田 弾

7 教育委員会教育長の委任を受けて説明のため出席したもの

学 校 教 育 課 長	宇 井 直 樹
学 校 教 育 課 主 幹	天 野 健 治
社 会 教 育 課 長	平 山 宏 照

8 農業委員会会長の委任を受けて説明のため出席したもの

事 務 局 長	津 川 修
---------	-------

9 議会事務局職員出席者

事 務 局 長	坂 井 克 巳
書 記	川 瀬 直 美

令和6年(2024年)3月19日(火曜日) 午前10時00分 開議

○議長(上嶋和志)

これから本日の会議を開きます。

ここで報告いたします。

畑久雄議員から欠席の旨の届けがありました。

以上で報告を終わります。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

日程1 請願第1号 将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する請願

○議長(上嶋和志)

日程1、請願第1号、将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する請願を議題とします。

ただいま議題となりました本件については、3月5日の本会議において、産業厚生常任委員会に付託されたものでありますが、審査を終えて議長に報告書が提出されております。

産業厚生常任委員会の報告を求めます。

川染洋委員長。

○7番(川染洋)

請願審査報告書、本委員会に付託された請願を審査の結果次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

記、請願第1号、将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する請願。

審査の結果、採択であります。

理由、基幹産業である農業及び地域経済を守るためであります。以上。

○議長(上嶋和志)

これから委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(上嶋和志)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより請願第1号を採決します。

この採決は挙手によって行います。本件に対する委員長報告は採択であります。

お諮りします。

本件は委員長報告のとおり賛成する方は挙手願います。

挙手9人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本件は委員長報告のとおり採択されました。

日程2 議案第3号 鹿迫高等学校寄宿舎設置条例の制定について

○議長（上嶋和志）

日程2、議案第3号、鹿迫高等学校寄宿舎設置条例の制定についてを議題とします。

本案については3月5日の本会議において総務文教常任委員会に付託され、審査を報告書が提出されております。

総務文教常任委員長の報告を求めます。

山口優子委員長。

○5番（山口優子）

委員会審査報告書。

本委員会に付託された事件は、審査の結果下記のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

審査日、令和6年（2024年）3月5日。

議案第3号、鹿迫高等学校寄宿舎設置条例の制定について。

審査の結果、原案可決であります。以上です。

○議長（上嶋和志）

これから委員長報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第3号を採決します。

この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手9人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

本案は原案のとおり可決されました。

日程3	議案第20号	令和6年度（2024年度）鹿追町一般会計予算について
日程4	議案第21号	令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険特別会計予算について
日程5	議案第22号	令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険病院事業会計予算について
日程6	議案第23号	令和6年度（2024年度）鹿追町簡易水道事業会計予算について
日程7	議案第24号	令和6年度（2024年度）鹿追町下水道事業会計予算について
日程8	議案第25号	令和6年度（2024年度）鹿追町介護保険特別会計予算について
日程9	議案第26号	令和6年度（2024年度）鹿追町後期高齢者医療特別会計予算について

○議長（上嶋和志）

日程3、議案第20号、令和6年度（2024年度）鹿追町一般会計予算について。

日程4、議案第21号、令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険特別会計について。

日程5、議案第22号、令和6年度（2024年度）鹿追町国民健康保険病院事業会計予算

について。

日程 6、議案第 23 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町簡易水道事業会計予算について。

日程 7、議案第 24 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町下水道事業会計予算について。

日程 8、議案第 25 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町介護保険特別会計予算について。

日程 9、議案第 26 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町後期高齢者医療特別会計予算について。

以上 7 件、関連がありますので、一括議題とします。

以上の件については、3 月 5 日の本会議において、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町各会計予算審査特別委員会に付託され、審査を終え、報告書が提出されております。

清水浩徳委員長の報告を求めます。

○10 番（清水浩徳）

令和 6 年度（2024 年度）鹿追町各会計審査特別委員会報告。

本委員会に付託された各事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第 77 条の規定により報告します。

事件の番号、件名、審査の結果の順で御報告いたします。

議案第 20 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町一般会計予算について。

原案可決。

議案第 21 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町国民健康保険特別会計予算について。

原案可決。

議案第 22 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町国民健康保険病院事業会計予算について。

原案可決。

議案第 23 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町簡易水道事業会計予算について。

原案可決。

議案第 24 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町下水道事業会計予算について。

原案可決。

議案第 25 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町介護保険特別会計予算について。

原案可決。

議案第 26 号、令和 6 年度（2024 年度）鹿追町後期高齢者医療特別会計予算について。

原案可決。

以上であります。

○議長（上嶋和志）

お諮りします。

本案は、特別委員会において慎重に精査されたものでありますので、委員長に対する質疑と討論を省略し、各議件ごとに採決をしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認め直ちに採決を行います。

これより議案第 20 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり、原案可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 21 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり、原案可決とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 22 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり原案可決とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 23 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり原案可決とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 24 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり、原案可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 25 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり原案可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり可決されました。

これより議案第 26 号を採決します。

お諮りします。

本案は委員長報告のとおり原案可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり可決されました。

日程 10 議案第 32 号 鹿迫町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

○議長（上嶋和志）

日程 10、議案第 32 号、鹿追町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第 32 号は、鹿追町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定についてであります。

改正の要旨について御説明いたします。

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の介護サービスに係る基準につきましては、3年に一度、介護報酬の改定とあわせて、社会保障審議会介護給付費分科会の審議を踏まえ、改正が行われております。

令和6年度（2024年度）におきましても、令和6年（2024年）1月25日に一部を改正する省令が公布され、4月1日施行とされております。改正が必要な条例は、鹿追町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例のほか、全部で4条例であり、それぞれ1条ごとに改正するもので、地域包括システムの深化・推進、自立支援・重度化防止に向けた対応、良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり、制度の安定性、持続可能性の確保を図ることを基本的な視点として、各サービスの改正と条文の整理を行うものであります。

以上、鹿追町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定についてを御説明させていただきました。御審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（上嶋和志）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第 32 号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手 9 人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

日程 11 議案第 33 号 令和 5 年度（2023 年度）鹿追町一般会計補正予算（第 10 号）について

○議長（上嶋和志）

日程 11、議案第 33 号、令和 5 年度（2023 年度）鹿追町一般会計補正予算（第 10 号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第 33 号は、令和 5 年度（2023 年度）鹿追町一般会計補正予算第 10 号となるものです。

令和 5 年度（2023 年度）鹿追町一般会計補正予算第 10 号は、次に定めるところによるといたしまして、第 1 条は歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出からそれぞれ 1,391 万 2,000 円を減額しまして、総額を 81 億 1,739 万 7,000 円とするものであります。

第 2 条は継続費の補正、変更について、第 3 条は繰越明許費についてであります。

はじめに補正予算の内容につきまして、歳出 35 ページより御説明いたします。

総務費、総務管理費、ゼロカーボン推進費・脱炭素先行地域の委託料で 1,391 万 2,000 円の減額であります。

次に歳入前ページから御説明いたします。

款項目、地方交付税の地方交付税で 246 万 1,000 円の減額。

国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金の総務管理費補助金で 154 万 9,000 円の追加。

繰入金、基金繰入金、町づくり基金繰入金の町づくり基金繰入金で 1,300 万円の減額で

あります。

次に 30 ページの第 2 表の継続費補正、変更について御説明いたします。

総務費、総務管理費で事業名は、役場周辺エリア Z E C 化事業で、年割額の令和 5 年度 (2023 年度)、1,391 万 2,000 円減額し、5,900 万 8,000 円に、令和 6 年度 (2024 年度) は 1,391 万 2,000 円を追加し、3,541 万円にそれぞれ変更するものであります。

次に 31 ページの第 3 表、繰越明許費について御説明いたします。

総務費、総務管理費の定住促進住宅建設奨励事業で 7 戸分の 310 万円、防災行政無線放送施設整備委託事業で 470 万 8,000 円、重点対策加速化事業で 3,022 万 4,000 円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業で 702 万 1,000 円、物価高騰対応商品券発行事業で 2,793 万 2,000 円のそれぞれ繰越し。

戸籍住民登録費の社会保障・税番号制度システム整備事業 (戸籍及び戸籍附表システム改修事業) で 929 万 5,000 円の繰越し。衛生費、清掃費の十勝圏複合事務組合負担金事業 (汚泥処理設備更新分) で 8,000 円の繰越し。農林費、農業費の道営土地改良事業で 2 地区合計 3,417 万円の繰越しであります。

繰越明許費の総額は 1 億 1,645 万 8,000 円であり、財源内訳は、国・道の支出金が 8,520 万 6,000 円、その他財源が 1,492 万 5,000 円。一般財源が 1,632 万 7,000 円となるものであります。

以上、一般会計補正予算第 10 号について御説明申し上げました。御審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長 (上嶋和志)

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長 (上嶋和志)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長 (上嶋和志)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第 33 号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手 9 人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

日程 12 議案第 34 号 令和 5 年度（2023 年度）鹿追町下水道特別会計補正予算（第 5 号）について

○議長（上嶋和志）

日程 12、議案第 34 号、令和 5 年度（2023 年度）鹿追町下水道特別会計補正予算第 5 号についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第 34 号は、令和 5 年度（2023 年度）下水道特別会計補正予算第 5 号となるものです。令和 5 年度（2023 年度）下水道特別会計補正予算第 5 号は、次に定めるところによることといたしまして、第 1 条は、地方自治法第 213 条第 1 項の規定により、翌年度に繰越して使用することができる経費で、繰越明許費となるものであります。

補正の内容につきましては、37 ページより御説明いたします。

款項、事業費で事業名が農業集落排水処理施設更新事業で 1 億 332 万円を繰越すものであります。

財源内訳につきましては、国・道支出金が 5,166 万円、地方債が 4,900 万円、一般財源が 266 万円となるものであります。

以上、下水道特別会計補正予算第 5 号について御説明申し上げました。御審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（上嶋和志）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第34号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手9人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

日程13 議案第35号 令和6年度（2024年度）鹿追町一般会計補正予算（第1号）について

○議長（上嶋和志）

日程13、議案第35号、令和6年度（2024年度）鹿追町一般会計補正予算第1号についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第35号は、令和6年度鹿追町一般会計補正予算第1号となるものです。令和6年度（2024年度）一般会計補正予算第1号は、次に定めるところによるといたしまして、第1条は歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出にそれぞれ1,391万2,000円を追加しまして、総額を76億391万2,000円とするものであります。

補正の内容につきましては、44ページより御説明いたします。

総務費、総務管理費、ゼロカーボン推進費・脱炭素先行地域の委託料で、継続費の年割額変更に伴いまして、1,391万2,000円の追加であります。

次に歳入前ページから御説明いたします。

款項目、地方交付税の地方交付税で15万5,000円の追加。

国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金の総務管理費補助金で1,375万7,000円の追加であります。

以上、一般会計補正予算第1号について御説明申し上げました。御審議の上、議決を賜

りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（上嶋和志）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第 35 号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手 9 人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

日程 14

委員会の閉会中の継続調査申し出について

○議長（上嶋和志）

日程 14、委員会の閉会中の継続調査申し出についてを議題とします。

総務文教常任委員長、産業厚生常任委員長、広報広聴常任委員長、議会運営委員長、基地対策特別委委員長から会議規則第 75 条の規定によりお手元に配付のとおり、閉会中の継続調査申し出がありました。

お諮りします。

ただいまの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

お諮りします。

ただいま産業厚生常任委員会、川染洋委員長から発委第2号、将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書が提出されました。

これを日程に追加し、日程1として議題としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

異議なしと認めます。

発委第2号を日程に追加し、追加日程1として議題とすることに決定しました。

資料配付のため暫時休憩とします。

〔暫時休憩〕

○議長（上嶋和志）

休憩前に引き続き会議を再開します。

追加日程1、発委第2号、将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書について提案理由の説明を求めます。

川染洋産業厚生常任委員長。

○7番（川染洋）

将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書。

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第10条第3項の規定により提出をいたします。

本文を読み上げます。

将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書。

農業を巡っては、近年の自然災害の多発化による食料・農地の損失、コロナ禍による輸入制限や国内在庫滞留、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルの内戦などによる世界経済の不安定化から食料調達の激化とともに、過度の円安などの影響も相まって、食料やエネルギーの国際価格高騰を招いている。加えて、昨今の温暖化気象変動による食料生産への影響が大きく、昨年では猛暑等の影響で品質低下・収量減を招くなど、食料を安定的に供給することが危惧される状況下であり、過度な輸入依存から脱却し国内生産の増大を図る政策の構造転換が求められている。

こうしたなか、国は農政の憲法と呼ばれる「食料・農業・農村基本法」の制定から25年が経過し、世界情勢の変化に対応して食料安全保障の確保や、農業の持続的な発展のた

めの生産性の向上を図るなどを基本理念に織り込んだ改正案を、今通常国会に提出するとしている。併せて、不測時の食料確保やスマート農業の振興に関する新法、農地所有適格化法人の特例措置など農地関連法案も議論されるとしている。

一方、食料自給率は38%（2022年）と依然として低い水準にあり、国内生産基盤は高齢化や担い手の減少などで脆弱化していることから、農業生産基盤の強化など基本計画の実効性のある政策が大きな課題となっている。

また、農畜産物の適正な価格形成では、生産コストの転嫁のあり方とともに、消費者への理解醸成が必要であり、さらには、不測時に対応した食料確保にあたっては、生産者等に罰則を科す施策は生産の自由を奪う危険性がある。加えて、食料の安定供給には優良農地の確保が重要となっており、食料自給率向上を図るための農地の確保と国の責務を強化することが重要となっている。

については、将来にわたり持続可能な農業の発展を図り、生産現場の意見に寄り添った農政の確立に向け、食料・農業・農村基本法の改正など関連法案について、下記事項を要望する。

記、1、基本法の改正にあたっては、食料安全保障の強化に向けて農業予算を拡充し、農業基盤の整備や官民一体となった備蓄制度の構築、海外への食料援助を含む輸出体制の強化など輸入に依存しない国内自給を基本とすること。

また、新たな基本計画の策定にあたっては、目標達成の状況調査・公表のみならず、未達品目の実効性を確保する具体的な施策と予算措置を図ること。

2、適正な価格形成については、コスト上昇分をすべて価格に反映すると消費減退を招き、農業者は生産調整を強いられることから、消費者への理解醸成を図るとともに新たな所得政策を構築すること。

3、不測時の食料確保について、農畜産物（米穀、小麦、大豆など）の需給調整では、生産者と生産者団体等で行われていることから、生産者等への罰則を設けるのではなく、まずは国が責任をもって需給調整に参加することを明確化し、生産の自由を奪うことのないよう慎重な対応を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先につきましては、別紙のとおりであります。以上であります。

○議長（上嶋和志）

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上嶋和志）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより発委第2号を採決します。この採決は挙手によって行います。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

挙手9人

○議長（上嶋和志）

挙手多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

ここで松本副町長から発言を求められておりますので、これを許します。

○副町長（松本新吾）

貴重なお時間をお借りしまして、本年度をもちまして退職及び役職定年をいたします職員を紹介させていただきます。

初めに葛西浩二総務課長、檜山敏行農業振興課長、内海卓実鹿追消防署長、坂井克巳議会事務局長。以上、4名が今月末をもって退職及び役職定年を迎えます。

それぞれ退任の御挨拶をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

○総務課長（葛西浩二）

退職にあたりまして、御挨拶する貴重なお時間をいただきまして大変ありがとうございます。

この度、3月末をもちまして退職することとなりました。

私は平成29年（2017年）より会計管理者をはじめに総務課主幹、財政担当課長、総務課長として7年間、議会本会議の行政説明員として大変お世話になりました。

十分な説明ができず、至らぬことも多々あったと思っております。そうした中、皆様に支えら

れたことを、改めて感謝申し上げます。

最後になりますけども、上嶋議長をはじめとする議会の皆様におかれましては、健康に御留意いただき、ますますの御活躍を御祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございます。

○農業振興課長（檜山敏行）

貴重な時間をいただき、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

平成 28 年度（2016 年度）から説明員として、8 年間にわたりお世話になりました。十分な説明ができたかは疑問ですけども、自分なりに誠心誠意務めさせていただきました。

私は土木の技術屋として役場の生活が始まりましたけども、思いもよらず農業畑に 30 年となりました。

技術者として、職員時代の川染議員にプレッシャーを与えられながら、ライディングパーク、千の公園等の建設に携わってきました。

農業振興課に来てからは 2 か所のバイオガスプラント、国営・道営の農業農村整備事業など良い経験をさせていただいたと思っております。

また今回、役職定年を迎える私ども 3 人ですけども、4 人の町長にお世話になったのは最後の世代なのかなと思います。

今後ともまたお世話になることもあると思いますけども、よろしくお願ひしたいと思います。最後になりますけども、上嶋議長をはじめ議会の皆様の御健勝と御活躍を御祈念いたしまして御挨拶といたします。長い間ありがとうございました。

○消防署長（内海卓実）

貴重な時間をいただきましてありがとうございます。

私、平成 28 年（2016 年）より本会議の行政説明員として約 8 年間務めさせていただきました。

消防ということで本会議での出番も大変少なく、至らぬところもあったかとは思いますが、議会の皆様の御指導いただき、無事務めることができ、改めて感謝申し上げます。

結びになりますけれども、議会の皆様の今後ますますの御健勝、また御活躍のほう、御祈念申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○議会事務局長（坂井克巳）

高いところから大変恐縮でございます。この度は御配慮を賜りまして御挨拶の機会を設けていただき、誠にありがとうございました。

私は議会事務局におきまして、平成 25 年（2013 年）7 月から 10 年 9 か月間、在職をさせていただきます。

その間、折に触れて、議員各位の多様なお考えをお聞かせいただいたところであり、皆様方の発言やアイデアが政策に反映されることなど、住民の代表として御活躍されていることを再認したところであります。

私は 3 月 31 日をもちまして、管理職定年となり、議会事務局を離れることとなりますが、皆様方に御指導いただきました貴重な経験を今後の社会生活に反映をさせていきたいと考えております。

どうか皆様、議員皆様方におかれましては、御健康で、益々の御活躍をお祈り申し上げたいと存じます。長い間大変お世話になり、誠にありがとうございました。

○副町長（松本新吾）

以上で紹介を終わらせていただきます。大変ありがとうございました。

○議長（上嶋和志）

ここで町長から発言を求められていますので、これを許します。

喜井知己町長。

○町長（喜井知己）

令和 6 年（2024 年）第 1 回定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、3 月 5 日から本日までの 15 日間にわたって開催をいただいたところであります。

今定例会を振り返りますと、初日には、条例の一部改正 9 件、一般会計及び 6 特別会計の補正予算、公の施設（町営牧場）の指定管理者の指定、第 7 期鹿追町総合計画「基本構想」の見直し、町道の廃止及び認定、固定資産評価審査委員会委員の選任について、全て原案のとおり議決いただきました。

また、14 日には 5 名の議員から一般質問をいただきました。

ホテル福原再開のめど、鹿追高校に対する支援体制、高齢者・子育て世代の仕事づくり、次の 100 年のための人材育成、小・中・高校生用のタブレットパソコンの更新計画について御質問をいただきました。

それぞれ、町の基本的な考え方についてはお答えさせていただきましたが、今後の対応等について改めて内部で検討を進めて参りたいと思います。

令和 6 年度（2024 年度）各会計予算については、予算審査特別委員会において慎重に審

議を賜り、これにつきましても先ほど本会議で可決いただきました。

また、初日に提案し、委員会付託となっております鹿追高校寄宿舎設置条例、本日提案した鹿追町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正、令和5年度(2023年度)の一般会計及び下水道会計補正予算、さらに令和6年度(2024年度)の一般会計補正予算等、全て原案のとおり議決をいただきました。

心から感謝申し上げる次第でございます。

さて、職員の関係でありますけれども、この3月末をもって葛西総務課長が早期退職をされます。

葛西課長は大学卒業後、民間企業の勤務を経て、平成4年(1992年)に本町職員となり、最初の配属先は私と同じ総務係で机を並べて仕事をした仲であります。その後、農業委員会、企画財政課を経て、本人の挨拶にもあったとおり、平成29年(2017年)に会計管理者で課長職となり、令和3年(2021年)から財政担当課長、令和4年(2022年)から現在の総務課長を務めていただきました。

皆さんも御承知のとおり財政、総務の知識・経験も豊富で本当に頼りになる、そして要である職にあったわけですから、町にとっては大きな損失であり、退職は誠に残念であります。私も当然慰留に努めたわけでありますけれども、しかし、彼自身が今後の人生を考え抜いての決断でありますから、最終的には私はこれを尊重すべきものと考えたところがあります。

葛西課長の第2の人生のスタートに心からエールを送りたいと思います。

本当にありがとうございました。

また、今年度からスタートした公務員の定年延長に伴い、満60歳での役職定年制度により、今定例会を最後に説明員としての役割を終える3名の方を私のほうから紹介いたします。

檜山農業振興課長におかれましては、本人の御挨拶にもあったとおり、昭和57年(1982年)に土木の技術職員として採用され、施設課土木係、農務課耕地整備係、平成12年(2000年)に耕地整備係長、平成25年(2013年)に農業振興課長補佐、平成28年(2016年)瓜幕支所長で課長職となり、農委事務局長、令和2年(2020年)から現在の農業振興課長を務めていただいております。

土地改良畑が非常に長く、そして中鹿追のバイオ稼働にも大きな役割を果たされました。

土木はもちろん農業基盤整備、農業委員会での農地行政等を通じて本町農業の発展に大

きな力となったと思っております。

4月からは、主査専門員という新しい立場で後輩への指導も含めて御活躍いただきたいと思っております。

次に内海消防署長は、昭和58年（1983年）、当時は北十勝消防事務組合でありましたけれども鹿追消防署の消防士として採用され、消防一筋41年務めていただきました。平成15年（2003年）庶務係長、平成23年（2011年）に署長補佐、平成28年（2016年）に署長となり現在に至っております。

長い消防生活の中、火災現場や交通事故等の救急、災害対応など、機敏な行動と的確な判断はもとより、平常時における現場等への対応の早さはたくさんいる町職員の中でもびか一と言えると私は思っております。業務に関わる資格免許も努力して取得されたことには頭が下がる思いであります。内海署長についても同様に主査専門員として消防からは離れるかもしれませんが、引き続き御活躍いただきたいと思っております。

最後になりましたが、坂井議会事務局長は昭和57年（1982年）当時農務課を振り出しに、瓜幕支所、総務課に異動されたときに私は一緒に彼と仕事をさせていただきました。その後、管財緑地課を経て、平成12年（2000年）に戸籍年金係長、平成25年（2013年）に議会事務局長補佐、平成29年（2017年）に議会事務局長となりました。

議会事務局に11年在籍し、うるさ型の4代（14期から17期）の議員さんたちに仕えたわけでありますから、議員さんからの信頼の厚さは私が改めて申し上げるまでもないと思っております。スムーズな議会運営を裏方として支えた功績は、誠に大きいと考えるところであります。

坂井局長におかれましても、4月からは主査専門員という新しい立場で後輩への指導も含めて御活躍いただきたいと思っている次第であります。

今日で議場を去り、新たなスタートを切る葛西総務課長、そして新年度から新たな主査専門員という立場でお勤めいただく檜山課長、内海署長、坂井事務局長に対しての、これまでのこの議場におられる皆様方の御厚情に対して、私の立場からも感謝を申し上げますと共に、今後とも御支援をよろしくお願い申し上げます。

あと10日余りで新しい年度を迎えます。

予算審査の挨拶でも申し上げましたが、令和6年度（2024年度）は第7期総合計画後期がスタートいたします。町の最上位の計画に基づき、新たな年度のスタートに向けてなお一層気を引き締めて町政運営にあたってまいりたいと考えておりますので、議員各位から

の御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げまして、定例会閉会にあたっての挨拶と致します。

大変ありがとうございました。

○議長（上嶋和志）

これで会議を閉じます。

令和6年（2024年）第1回鹿追町議会定例会を閉会します。

閉会 10時55分